

女子戦評

大会名 県民共済カップ第73回全日本バレーボール高等学校選手権大会青森県代表決定戦
日 時 令和2年11月20日～21日
会 場 マエダアリーナ

女子決勝（11月21日）

$$\text{青森西高等学校} \quad 3 \quad \left\{ \begin{array}{l} 25-15 \\ 25-18 \\ 25-17 \end{array} \right\} \quad 0 \quad \text{三沢商業高等学校}$$

ファーストレフリー

津嶋 由香

セカンドレフリー

渡邊 匠哉

4年連続17回目の選手権大会出場を目指す青森西高等学校（以下青西）と16年ぶり3回目の出場を目指す三沢商業高等学校（以下三商）の対戦である。

第1セット、三商は濱澤のスパイクで先制。青西は中塩・堀川・毛藤のスパイクで加点し、序盤は一進一退の攻防が続く。毛藤のサーブで13対10とし三商は1回目のタイムアウト。その後も毛藤の切れのあるサーブが冴え、15対10で2回目のタイムアウト。青西のブロックが有効に機能し、さらに中塩・堀川のスパイクで点差を広げ、25対15で青西が第1セットを先取。

第2セット序盤、青西は川端のサーブで相手を崩し点差を広げる。三商は濱澤・根岸のスパイクで反撃するが、サーブミスなどもありなかなかリズムがつかめない。三商は12対7で1回目のタイムアウト。青西は毛藤のサーブ・中塩のスパイクで加点。三商は松本のサーブから連続得点するも、青西は毛藤・堀川のスパイクで加点。三商は妻神・濱澤の攻撃で粘りを見せるが、25対18で青西が第2セットを取る。

第3セット、青西のブロックが三商の攻撃を阻む。三商は濱澤の巧みな攻撃で反撃するが、10対4で三商1回目のタイムアウト。三商も妻神の速攻や根岸のスパイクで反撃するも、15対8で2回目のタイムアウト。青西はリベロ柳瀬の安定したレシーブからセッター角谷の的を絞らせないトス回しで点差を広げる。三商は妻神のブロックなどで粘りを見せるが、最後は青西堀川のスパイクで25対17とし、青西が4年連続17回目の選手権大会出場を決めた。

戦評者 小山内 忍